

	大阪大学 理学分野
学部等の教育研究 組織の名称	理学部（第1年次:225） 大学院理学研究科（M:266 D:126） 大学院情報科学研究科（M:123 D:43） 大学院生命機能研究科（D:55） 蛋白質研究所 核物理研究センター
沿革	昭和6（1931）年 大阪帝国大学創立と同時に理学部を設置 昭和8（1933）年 理学研究科を設置 昭和28（1953）年 大学院理学研究科修士課程設置 昭和30（1955）年 大学院理学研究科博士課程設置 平成8（1996）年 大学院重点化に伴い、大学院理学研究科博士前期課程 ・博士後期課程設置 昭和31（1956）年 理学部「蛋白質研究施設」を経て、昭和33（1958）年 全国共同利用「たんぱく質研究所」設置 昭和46（1971）年 核物理研究センター設置 平成14（2002）年 大学院情報科学研究科博士前期課程・博士後期課程設 置 平成14（2002）年 大学院生命機能研究科博士課程設置 平成22（2010）年 蛋白質研究所及び核物理研究センターが共同利用 ・共同研究拠点に認定
設置目的等	<p>昭和6年、大阪大学理学部は、模倣的工業から脱皮するためには、独自の基礎的研究から生まれた独創的技術の力によらなければならないという先見的認識と危機感を背景に、民間からの基金や寄付金などにより設立された。</p> <p>昭和33年、大阪大学蛋白質研究所は、理学部「蛋白質研究施設」を経て、生体物質としての蛋白質の大切さが理解され蛋白質の重要性が強く認識されたために設置された。</p> <p>昭和46年、大阪大学核物理研究センターは、世界第一級の大型加速器と実験施設により原子核物理学に関する研究を広く推進するため、全国共同利用研究施設として設置された。</p> <p>平成14年、高度情報化社会に大きく貢献する情報科学技術の提供を可能とし、更に情報関連の包括的な学問体系の構築が実現され、関連分野の発展を目的に、情報科学研究科が設置された。</p>

	<p>平成14（2002）年、「生命機能学」の発展のために、従来の医学・生命科学の再編だけではなく、工学、物理系理学といった様々な領域との融合の必要性が高まり、生命機能研究科が設置された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>大阪大学は、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、学問と教育の世界的拠点になるとともに、高い倫理観を保持した優秀なグローバル人材育成に取り組んでおり、理学系分野については、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然科学の基本を深く理解する教育を展開することで、広い視野と柔軟な発想と基礎科学の素養を有し、社会に貢献する高度な専門人材の育成の役割を充実するとともに、真理探究の意欲と世界的視野を持ち、高度な研究能力を有する先導的な人材育成の役割を果たす。</li> <li>○ 円滑な高大接続や基礎／専門教育の連続性を重視する専門基礎教育、能動的な学習を啓発するカリキュラム、国際的視野を培うプログラムの推進など特色のある教育改革を進めてきた実績を生かし、理学に基づき最先端の科学に挑戦してグローバルに活躍できる人材を育成する学部・大学院教育を目指して、不断の改善を図る。 基礎生命科学・医学・工学・物理学など、幅広い異分野の融合による生命科学のフロンティアの開拓を目指し、分野横断的な教育プログラムや5年一貫制博士課程により、世界最先端の研究現場で活躍する高度人材の育成を行う大学院教育を目指し、不断の改善を図る。</li> <li>○ 数学、数理情報学、化学、物理学及び生物科学の各分野における先駆的な研究や世界トップクラスの独創的研究を一層推進し、複雑・高度化する先端研究への貢献や新産業創出の基盤構築を図ることで、我が国の発展や学問の進歩に寄与する。 生命動態システム科学や脳情報通信に係る連携融合研究を推進し、オールジャパン体制による生命科学における一大研究拠点を形成することにより、我が国の生命科学の発展に寄与する。 蛋白質の構造機能研究（構造生命科学など）や国際的な共同利用・共同研究を通じた生命科学の新たな研究領域を開拓する。また、サイクロトロン施設やレーザー電子光ビーム施設等を活用した原子核分野の最先端研究を推進する。</li> <li>○ 基礎科学研究の成果を社会還元するために、広く国民や民間企業、研究組織等に周知を図り、学術の発展や地域の知識基盤社会化</li> </ul>

	<p>の一層の進展に寄与する。</p> <p>○ 社会人を対象とした基礎科学から応用技術に至る人材育成(社会人の学び直し)を推進するとともに、小・中・高校生を対象とした理科教育や啓発活動などを通じ、産業界・地域社会の高度化・活性化に資する。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------